

令和5年度第1回丸亀市文化芸術推進審議会 会議録

開催日時	令和5年10月23日(月) 午後1時00分～2時30分
開催場所	丸亀市役所 3階 303、304会議室
出席者	出席委員 大澤寅雄 近藤清志、篠原勉、嶋田典人、高橋勝子、中井今日子 長原孝弘、橋本一仁、藤井満美、藤井睦子、森合音、山下高志 山口雄一 (欠席委員) 広谷鏡子、横山純果 審議会委員 15名中 13名出席 事務局出席者 産業文化部:(部長) 林裕司 産業文化部文化課:(課長) 村尾剛志 石川真司 廣瀬憲子 山中朝加
議題	(1) 会長、副会長の選任について (2) 丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について (3) 丸亀市文化功労賞等について
報告	(1) 新市民会館開館準備の現状について
傍聴者	無し

発言者	発言要旨
事務局 (山中)	これより、令和5年度第1回丸亀市文化芸術推進審議会を開催いたします。 はじめに、産業文化部長 林裕司よりご挨拶申し上げます。
林部長	～部長あいさつ～
事務局 (山中)	続きまして、本日ご参会の委員の皆様をご紹介します。 ～委員紹介～
事務局 (山中)	ありがとうございました。 議事に入ります前に、本日の出席委員は13名で、委員の過半数がご出席されておりますので、丸亀市文化芸術基本条例施行規則第3条第2項の規定によりまして、本審議会が成立していることをご報告いたします。 それでは議事に入りたいと思います。 議題1の「会長、副会長の選任について」ご審議をお願いいたします。 丸亀市文化芸術基本条例施行規則第2条第1項及び第2項により、会長及び副会長は委員のうちから互選するとありますので、選任についてお諮りしたいと思います。いかがいたしましょうか。
委員	事務局一任でお願いしたい。
事務局 (山中)	それでは、事務局案としまして、会長を橋本一仁委員、副会長を森合音委員にお願いしたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。
委員	拍手（異議なし）
事務局 (山中)	それでは、橋本委員に会長を、森委員に副会長をお願いしたいと思います。 橋本委員、森委員恐れ入りますが会長席と副会長席にお移り下さい。 ～席の移動～ それでは会長、副会長よりご挨拶を頂戴いたします。 ～橋本会長・森副会長あいさつ～
事務局 (山中)	ありがとうございました。次に、本日の議題であります丸亀市文化功労賞の選考について丸亀市長から諮問書の提出があります。

事務局 (廣瀬)	～諮問書を会長に渡す～
事務局 (山中)	ありがとうございます。 それではこれ以降、丸亀市文化芸術基本条例施行規則第3条第1項の規定により（「審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる」）とありますので、会長に議事を進めていただきたいと思います。 会長よろしく申し上げます。
橋本会長	議長として審議会を進めます。 委員の皆様には、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。 それではさっそく議題2より進めてまいります。 本日は、議題2「丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について」、議題3「丸亀市文化功労賞等について」審議いたします。 また、本日の会議録署名委員は、山下委員、篠原委員にお願いしたいと思います。 それでは、議題2「丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局 (石川)	議題2 丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について ～説明～
橋本会長	事務局の説明は以上であります。 ご質問やご意見などがありましたら自由に発言をお願いします。
高橋委員	丸亀市文化芸術基本計画の基本方針1の基本的施策1-(3)「子どもたちの文化芸術活動の充実」が重点施策について、総括のところでは評価は出ているけれども、指標がないので、指標として表れている方がよいと思いました。
橋本会長	ありがとうございました。 事務局何かありますか。
事務局 (石川)	指標に関しまして、子供たちの事業という部分を取り上げる場合にだいぶ幅広になるというところもございまして、私たちといたしましてはアウトリーチ事業など、特に子供たちに向けたものを中心に組み込んでおりますので、そこが1つ指標になるのかなというふうに考えております。 特に令和4年度で取り組んだものにつきましては、下の進捗状況にお示ししておりますような地方創生臨時交付金を使った事業であるとか、芸術家派遣事業の方での数字を入れるなど、特段をお示ししたいものについては入れております。
高橋委員	例えば、基本方針3や4の指標のところでは、こういうことを目安に入れてると

	<p>ということが米印で書かれています。</p> <p>そこが基本方針 1 にはないので、分かりやすいように入れていただけたらと思います。</p>
事務局 (石川)	<p>できるだけその方向で改善できるように取り組んでまいります。</p>
橋本会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>他にございますか。</p>
近藤委員	<p>よろしいですか。</p>
橋本会長	<p>はい、どうぞ。</p>
近藤委員	<p>基本方針の 3 の基本的施策 3-(3)「観光・産業等と文化芸術の連携」の観光の部分について、総括では「丸亀うちわのミュージアム」が該当しているのでしょうか。</p> <p>また、「丸亀お城まつり」の再開も該当すると思いますが、そのあたりを指標的に捉えるのはなかなか難しいですか。</p>
橋本会長	<p>事務局どうぞ。</p>
事務局 (石川)	<p>お話の通り「観光・産業等と文化芸術の連携」の観光の部分は、「丸亀うちわのミュージアム」や「丸亀お城まつり」の再開と捉えております。指標としての捉えるにあたり、どの数値を使うか難しいところがございます。</p> <p>お城まつりの来場者数やうちわのミュージアムの来館者数を示すことはできますが、その数が文化芸術とどう繋がっているのかを判断するのはなかなか難しいです。この数字を指標として使用するのが適切かという判断が難しい部分もございました。今回は数字的な指標の設定は行っておりません。</p>
近藤委員	<p>今の時点で、移転が終わったばかりのうちわミュージアムや規模を縮小して開催したお城まつりについて、数値をきちっと捉えていくのは難しいところがあると思いますが、この新しい日常が安定してきたら、何らかの形でそういうところも積極的に捉えてほしいです。</p> <p>特に観光という視点で考えるのであれば、域外から来られた方を指標としてとらえられるようなものがあれば、この文化芸術基本計画の取組が、観光にうまく役立っているということが分かるようになるので、数字があれば探していただければよろしいかなと思いました。</p>
橋本会長	<p>どうもありがとうございました。</p>

事務局 (村尾)	<p>先ほど近藤委員の方から数値的なものにより関連付けてということについて、私どもとしても、この数値目標を持つということが大変大事なことですけれども、例えば、丸亀うちわミュージアムの中で、文化芸術に関するイベントとか、何か関連づけた内容のものがどれほどできているかということにやはり注力したいと思っています。</p> <p>そのあたりを数字で拾えること、定量化できない部分については、定性的なもので判断していきたいと思っておりますので、関連付けられる数値についてはできるだけ関連付けて指標として上げるか、その指標のベースになる数値として考えるかというのは、また検討させていただきたいと思っております。</p>
近藤委員	<p>必ずしもその来場者数とか、単なる数だけとらえるとかいう趣旨で僕は言っているつもりではなくて、関連づけられたところでのイベントなどで拾っていけるものでもいいのではないかと。参考数値でもかまわないですけど。</p> <p>KPI指標でシビアに評価していくというところまではいかないけれども、やはりこういうことの積み重ねがやっぱりまちの魅力の増大に繋がって、域外からの交流人口が増えて観光振興にも影響があるとか、うまくいっている、いっていないというのが分かるようになると思うので、何かつかめる数値を探して欲しいという趣旨で、今申し上げたということでございます。よろしくお願いします。</p>
橋本会長	<p>はい、どうもありがとうございました。 では、続けてどうぞ。</p>
山下委員	<p>今の質問に関連してお伺いしたいと思います。</p> <p>うちわミュージアムが移転した理由を聞きたいです。</p> <p>また、うちわミュージアムが中津万象園に移転しましたが、行くのが難しいですね。多分バスで直接行くことはできないし、電車で行って、それから歩くという感じになると思います。</p> <p>あと、移転先の中津万象園とどのような関連付けを行うのか。位置付けを変えるのか、単に移転しただけなのか。以上ご説明いただきたい。</p>
事務局 (石川)	<p>うちわミュージアムの移転理由の大きなところは、これまでの施設の老朽化による雨漏りがございまして、その辺が一番大きなところではございます。</p> <p>ただ移転することで、中津万象園も相乗効果が得られるだろうと。</p> <p>また、管理費用についても、幾らか節約に繋がるのではないかとということで、中津万象園の方に移転させていただいた次第でございます。</p> <p>観光面で申し上げますと、やはり2つの施設が隣接してあるということで、訪れやすくなると思いますが、文化施策の方に関しましては、これを機に中津万象園の中でアートイベントを実施することも考えております。</p> <p>移動手段に関しましては、なかなか難しいところではございますが、今年度は瀬戸芸の関連で、試験的にバスツアーのようなものを行っておりまして、島に行ってい</p>

	<p>ただくのと併せて、中津万象園に訪れていただけるような取組を行っているところです。</p>
事務局 (村尾)	<p>続けてですけれども、中津万象園に3月25日にうちのミュージアムが移転しました。4月から9月までの半年間、入場者数が14,825人となっております。コロナ以前、平成30年度の入場者数が13,616人ということですから、交通の不便性などそれほど影響してないのかなというふうには思いますし、ある程度一定の相乗効果が出ていると産業観光課の方では総括しております。</p> <p>また、うちわ港ミュージアム移転ということが決まりました。文化課としましても、今年の1月に懐風亭の上で音楽コンサートを実施しまして、100名の定員で160名入りました。</p> <p>さらに、今年の夏には、瀬戸内サーカスファクトリーの取組として、海外からアーティストを呼んで、中津万象園の美術館の方で現代サーカス公演を行い、その来場者が、うちのミュージアムにも訪れたと聞いておりますので、民間の施設ではありませんけれども、市としても場所をお借りして、その歴史的な資源を活用するという取組をこれからも進めていきたいと思っております。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。 それでは他にありますか。</p>
森副会長	<p>今回、資料がとても見やすくなっていると私は思いました。 明確に基本方針が1、2、3、4と1個ずつの項目に対してきちんと見ようとしている。今まではその辺りがよくわからなかったり、行ったり来たりしていましたが、この資料では、ちゃんと対比させながら総括して述べられており、丁寧であると感じます。</p> <p>結果と原因は少しタイムラグがあり、今まさに原因を作っている段階なので、すぐに結果としては難しいかもしれませんが、私はこの資料を見るだけでも、これまでの資料と違ってすごく見やすいと思えましたし、こういう丁寧なまなざしを皆さんが設けてくれたことは、何か結果に結びつくと思います。資料読んでいても楽しく、こんなこともされているのかということが腑に落ちたというか、数字だけで語られない文化の評価の仕方をされてきているように感じましたので、よかったと思えました。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございました。 他にございますか。はい、大澤委員。</p>
大澤委員	<p>今、副会長からご発言があったように、非常に丁寧に計画からその実施と評価をつなげて説明していただいている資料に私もすごく感心しました。</p> <p>今までの発言の中でも、評価というのは、この数値目標の達成が目的になるわけではないと思うので、目標として設定したものを、その定性的な内容、実質の部分も</p>

	<p>質の部分丁寧にしながら、この後チェックしていくことになると思います。</p> <p>僕は概ねこの目標設定はいいなと思って見ていますが、1点希望を言えば、新市民会館の供用開始、基本方針3の、指標の①なんですけれども。1-1の資料だと12ページの上ですね。</p> <p>この新市民会館の供用開始、目標値、令和7年度が100となっているのは、もちろん建つ前は0%であって、供用開始したら100%になるのは、よっぽど工事が延期にならない限り達成できるだろうと思います。</p> <p>ただ、もしこの目標を何か有効に使うとしたらちょっと別の目標値があってもいいと思ってアイデアを2つほど考えました。</p> <p>1つは、現実的にやるのが難しい評価かもしれないですけど、新市民会館に対する認知度がどれくらい上がっていくかということのを令和7年度にかけて行うことです。おそらく多くの市民の方がご存知だとは思いますが、それでも僕は文化施設の調査研究をずっとやっていますが、知らない人はいると思います。丸亀市民の中でもできるだけ供用開始前までにその市民の認知度を上げていくかっていう指標があってもいいのではないかなと。</p> <p>ただ市民アンケート調査をそのためにやるのかっていうと難しい面もあるだろうなと思います。</p> <p>2つ目は、新市民会館に向けた様々な活動をすでにされていると思います。基本計画の分厚いほうの102ページの新市民会館の整備の主な取組を見ると、策定だけじゃなくて車座集会とか講演会とかワークショップとか、文化系推進サポーター養成といった取組をされており、非常に大事な取組だと思います。</p> <p>こういった取組に、開館前にどのくらいの市民が参加しているのか、実人数をカウントしていくことが1つ有効じゃないかと思います。</p> <p>なぜ有効かという、供用開始する前に、どれくらい新市民会館と関わってくれる人を開拓するかっていうことが大事だと思うからです。</p> <p>おそらくですが、開館した年度はものすごく利用が増えることになると思いますが、実態として僕はいろんな文化施設を見ていると、開館の次の年度にがたんと落ちて、どんどん関心は冷え込んでいくっていうことはもうあらかじめ予測ができることです。</p> <p>関わり続けている、関わり続けていく人をどれくらい開拓するかっていうことが、供用前からやっておくべきことだと僕は思うので。</p> <p>ここの評価指標としては、新市民会館に向けた開館に向けた取組にどれくらいの市民が関わっているかっていう数値目標があってもいいかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局何かありますか。</p>
事務局 (村尾)	<p>はい。確かにこの新市民会館供用開始指標というのは、完成したら100で、それまでは0だという、非常にわかりやすいというかあまり指標としていいのかなという</p>

	<p>感じはしますが、整備をするかしないかという判断でこれを入れたということです。具体的に認知の高まりについては、市の方でeモニターという制度があります。これを活用して、どのくらい増えているか定期的に調べることは可能であると思っております。</p> <p>一方で、様々な活動に対する市民参加の実人数、関わってくれる方をどれだけ作っていかれるかという点ですが、この点は1番時間がかかり、本当に丁寧にやらないといけないということが、最初から分かっておりましたので、平成30年からこのサポーター養成講座のほか、それから車座集會も含めて様々な講座をやっております。</p> <p>1例ですけれども、車座集會については今も継続してやっておりますが、大体今のところ230件、延べ人数で言うと1900人ほど、その前後でアプローチし、事前に説明をしたりとか、アフターフォローに入ったりして、延べ3000人強の方々と本当に小さいミーティングを重ねてきております。今もやっております。</p> <p>それからサポーター養成講座についても、かなり件数をやっております、今件数は手元にないですが、現在68の方がサポーターとして登録してくださっている。今回も新しい市民劇というのをやろうとしていますが、これにも公募で45の方が参加しているというようなこともあります。</p> <p>そういったことを指標にして累計していくと、開館時点ではこういう方々が顧客になっていただける。</p> <p>そういった形で、定期的なダイレクトメールを送るなどということをやっていききたいというふうに思っております。</p> <p>以上であります。</p>
橋本会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それ以外に何かございますか。</p> <p>はい。山下委員。</p>
山下委員	<p>デジタル化の件でお伺いしたいのですが、美術館や資料館の調査などいろいろ進められているようなことは書かれていましたが、デジタル化は現在どこまでどういうふうに進んでいるのかはどこかで分かるのでしょうか。</p>
事務局 (石川)	<p>はい。順次行っているという状況でございます。</p> <p>美術館の方も2030年頃を目指して、所蔵物のデジタル化を進めているというふうにお伺いしております。</p> <p>令和4年度では劣化が極端に進むスライドフィルム15,920点をデジタル化しました。資料館に関しましては、手元に資料がございませんが、順次進めていると伺っております。</p>
山下委員	<p>なぜデジタル化について言っているかといいますと、外の世界ではすでに相当進んでいるわけですね。</p>

	<p>資料館や美術館の所蔵物、さらに文化財について、資料館や美術館で見ていると展示ごとである程度まで分かりますが、デジタル化のデータがないと細かくわかりません。</p> <p>例えば、猪熊さんがいつどういうふうにしてどうなったかということを知ろうしたら、一部ネットで見ることができますが、デジタル化のデータがないと細かくは分からないです。仏像などもそうです。</p> <p>だから、実物はどんなものかを実際にデータで見るような、もっと手軽に我々の身近にあるようなことが必要じゃないかと。総括的に知ることのできるものがあればいいかと。そういうデジタル化の計画を資料に書いてくれると、我々も期待を持って待てるということなので、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (石川)	はい、貴重なご意見だと思いますので、関係施設の方にも声掛けをしてお示しできるように考えたいと思います。
橋本会長	はい。 どうもありがとうございました。
事務局 (村尾)	先ほどからいただいております各委員さんからのご提案については、私どもも検討して市民の皆さんにとって、できるだけ分かりやすい指標で取り入れて、成果を示していくなどの対応させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
橋本会長	はい。ありがとうございました。 それではこの件につきましては、そこまでということでもよろしいでしょうか。 今お話ありましたように、今日のご意見も踏まえながら、より良い資料ができますよう事務局の方もよろしく願いいたします。 それではどうも、いろいろご意見ありがとうございました。 次の議題3の方に移ります。 丸亀市文化功労賞等についてという議題でございます。 これについては、会議は非公開という形になっておりますが、今日は傍聴者いらっしゃいませんので、このまま進めたいと思います。 それではまず、丸亀市文化功労賞の推薦に当たる方についてご説明を事務局の方からよろしく願いいたします。
事務局 (廣瀬)	失礼いたします。 議題3の丸亀市文化功労賞の選考についてという資料の方をお願いします。 まず当賞の概要についてご説明いたします。 丸亀市文化芸術基本条例に、「文化の振興に関し、功績があった者または団体を表彰することができる」と定めております。 表彰の種類については、規則に「文化芸術の推進に深く寄与し、特筆すべき業績が

あった者」を丸亀市文化功労賞。「文化芸術の推進に寄与し、その業績が顕著な者」を丸亀市文化推進賞、「文化芸術の推進に寄与しその業績が顕著で、今後一層の活躍が期待される者」を丸亀市文化奨励賞の各賞贈呈することとし、表彰の決定については審議会に諮り、市長が決定するとしております。

今年度は文化功労賞 1 件についてお諮りするもので、文化功労賞授与の基準といたしまして規則には「文化技術の推進に深く寄与し、特筆すべき業績のあったもの」と規定されており、具体的には文化的、学術的貢献度が全国的なもので、文化芸術の推進に深く寄与し、特筆すべき業績のあったものであるか、また丸亀市への貢献度が高いかどうかに着目して、ご審議いただいております。

それでは、候補者についてご説明いたします。

* * *

～ <丸亀市附属機関会議公開条例第 5 条の規定により一部非公開とする> ～

* * *

橋本会長

それでは本日用意しました議題はそこまでですが、その他として事務局の方からありますか。

事務局
(村尾)

はい、ございます。

先ほど新市民会館について少し話題がありましたけれども、現状をご報告させていただきたいと思っております。

この 4 月に起工式を行いまして、現状、地下 2 階部分の掘削がほぼ終わりました、基礎ができているという状況であります。

工事の方は、無事予定通り進捗をしております。

それから、管理運営の件ですけれども、10 月 10 日に指定管理者の選考委員会をしております。

こちらについては現在選考、決裁中ということで、間もなく指定管理者の候補者を決定して通知をするということと、12 月議会、市議会の方に諮りまして、議決をいただければ、指定管理者として今後 2 年 3 ヶ月を経て、開館の準備を進めていくというふうな流れになります。

この結果につきましては、決裁後に皆さんの方にもご報告させていただきたいと思っております。

準備万端といたしますか、私ども本当に大きなプロジェクトで、今までにないテーマを掲げてこの劇場運営しようとしており、本当にもうすべての力を注いでここに取り組みでいきたいと思っておりますので、この審議会の中でも順次ご報告をさせていただきます。

忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

橋本会長	私の方からは以上です。 はい。それではこれもちまして第 1 回丸亀市文化芸術推進審議会を終了といたします。どうもありがとうございました。
------	---